



にいがた畜産女子会レポート

～Vol.24

2025.10.16
にいがた畜産女子会事務局

「山古志伝統文化勉強会」 “山古志牛の角突き”に行ってきました。

10月12日(日) 長岡市山古志地区で開催された「牛の角突き」を観戦しました。
「牛の角突き」は山古志地区など近隣の「二十郷」と称される一帯で古くから行われてきた行事であり、現在は重要無形民俗文化財に指定されています。

はじめに、女子会会長関裕子さん(山古志肉用牛生産者)から挨拶をいただき、勢子で場内解説者の松田淳さんと角突き女子部部長の五十嵐明子さんから角突きの概要や山古志地区の取り組みについて説明をいただきました。



挨拶をする関裕子さん(中央)



松田淳さん(中央)と五十嵐明子さん(右)

当日は天気が心配でしたが、雨が降ることもなく、暑さが苦手な牛にとっては気候も涼しく、最高のコンディションだったようで、とても白熱した戦いを観戦することができました。



「ヨシター」という掛け声で牛に勢いをかける勢子の皆さん



「引き分け」で終わるのが習わしなので勢子が引き離しに入ります。牛が興奮していると引き離すのは大変です。



俺は強いんだ!

睨み合う闘牛たち

初めて参加する会員のみなさんは牛の迫力ある戦いに固唾を飲んで見守っていました。私も何回も観戦しておりますが、いつ観ても闘牛の強さに圧倒されます。

勢子の方々の見事な動きと、牛に勢をかけて試合を盛り上げる技術は目を見張るものがありました。

※ 勢子(せこ)
闘牛場内で牛を闘わせ、最も興奮状態の牛を引き分ける大変重要な役割を持つ人



興奮した牛を引き離す勢子の皆さん



会員の畜種は様々なので、家畜の特徴について意見交換をしよう場面もありました。

最後に、角突き女子部の取り組みを紹介します。会場の入口に、角突き女子部のテントがあり、オリジナル商品を販売しています。

売上金は闘牛の餌代として寄付し、牛の角突きという伝統行事を支える素晴らしい取り組みをされています。

牛の刺繍が施されたポーチなどの雑貨類が販売されていました。



会場前にある角突き女子部のテント



皆さんで記念撮影

山古志文化勉強会は、2019年に開催し、今回は2回目の開催でした。

今回も関さんのサポートのもと、新潟に今も輝き続ける畜産の伝統文化について学ぶことができました。

角突きスタッフの方々にも大変お世話になりました。

ご参加いただいた会員とご家族の方々も、大変ありがとうございました(事務局 N.S)